

フジタ建設コンサル認証

四国企業で初

20年7月24日に開幕する東京五輪・パラリンピックでは、アスリートだけでなく国民一人一人が五輪を機に健康管理や運動面で「自己ベスト」に向けて行動することを目指している。マイベストプログラムは、事務局が18年12月に創設した。従業員らに五輪開幕日までの目標を立ててもらい、その達成を支援する企業などを認証してマークを与える。

東京五輪推進本部「マイベストプログラム」

土木工事設計などのフジタ建設コンサルタント(北島町)が行う従業員の健康づくり事業が、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局から、健康や体力の増進を支援する企業・団体の取り組みを対象にした「beyond(ビヨンド)2020マイベストプログラム」の認証を受けた。全国で10団体目で、四国に本社を置く企業では初めて。

健康増進 取り組み評価



フジタ建設コンサルタントは昨春から年2回、スポーツクラブを運営する岡田企画(徳島市)の健康運動指導士らに会社へ来てもらい、希望する従業員に筋肉量測定や運動指導などを行っている。認証を受けた事業で



旅行会社のブースで商談する参加者ら—東京都内

は、希望者に、体の中の筋肉や脂肪の割合が分かる体組成計の測定

結果を点数化した「フィットネススコア」の目標値を設定してもらい、体重計や血圧計を各部署に備え、休憩室には各種運動器具を置いて社内でも手軽に運動できる環境を整えるなど、達成に向けた取り組みを支える。藤田達也社長は「認証を励みに、社員に良い影響を与えられるような取り組みを継続していきたい」と話している。(中野由梨)

首都圏旅行社に 県内観光地PR

都内で「徳島商談会」

徳島県は22日、首都圏の旅行社に県内の観光関連施設やサービスのPRを目的とした「オール徳島観光商談会」を東京都内のホテルで開いた。県内から自治体や観光・宿泊施設など43団体が参加した。個別商談会では、県

阿波銀、二軒屋支店を新築

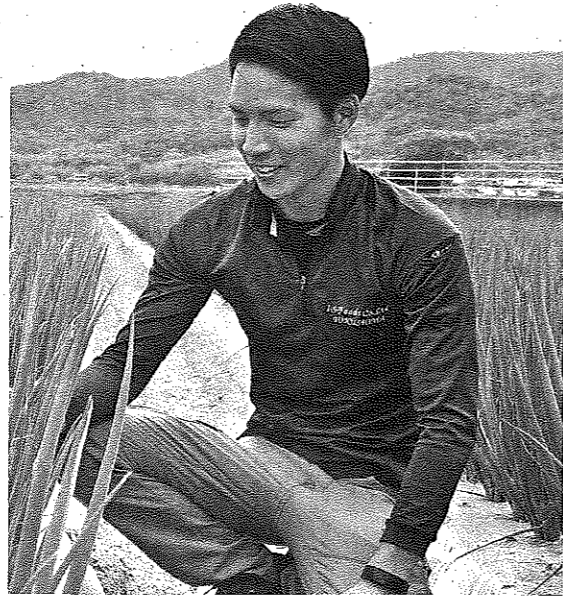
27日オープン「問屋町」を統合



阿波銀行は27日、徳島支店を新築オープンする。二軒屋町3の二軒屋支店を統合し、同市

青ネギ栽培の農業法人を経営

青ネギを周年栽培する「アイ・エス・フーズ徳島」(阿波市)の代表取締役。父親が経営する淡路島の農業法人を分社化して2017年に設立し、現在は8秒で品種「みやび姫」を加工・業務用に生産、出荷している。



生産や品質の向上に余念がこころ、同社は2倍の8秒で月産100トン、宮城、京都、福岡、鹿間40〜50トンに上る。淡路島の農業法人と若手青ネギ生産者と有志団体「青ネギコンビニチェーン」や全国展開する「青ネギコンビニチェーン」を17年に立ち上げる中華料理店、うどん店など、関西圏を中心に全国約60店舗に必要量を算出し、その

コンビニなどに販路

農業の道を選んだのは、父親高は7千円を見込み、20年が脱サラし、台風で価格が高内をめぐりに新しく加工場の建設していた青ネギの栽培を始めたのがきっかけ。普通科高校を卒業して製造業の会社に就職していたが、「これだけもつかるぞ」と父親から見せられた書類に農業の可能性を口が滅る中、「稼げる農業」を見て就農へ動き、14年には父のモデルとなり、自分の親や物流業者と共に淡路島に農業法人をつくった。

淡路島はブランド野菜の知名度が高いこともあり、農地を手放す生産者が少ない。事業を始めるにも島内では農地の確保が難しく、契約農家の確率が低く、契約農家の開業を企画。農業経営の先がある阿波市に目を向けた。妻が同市出身ということもあり、報告し合う「次世代農業サミット」(日本農業法人協会主催)でも、近畿エリアの推進が、安定した品質と取引量の信頼は高い。農地は設立当初の1.5倍から5倍以上となり、淡路島の法人の7秒やめずに進んでいく。青ネギを追い抜いた。生産規模の拡大した青ネギ畑を見つめる目は大へ、今年4月には阿波市内の農家3軒(計9.5畝)と契約した。19年5月期の売上

四国地域経済産業調査 (1~3月期、四国経済産業局まとめ)

全体判断	持ち直しの動きに足踏み感が見られる(引き下げ)	
	前期比	概要
業況	↓	生産は電気機械など一部に弱い動きが見られ、弱含みで推移。個人消費は暖冬で季節商品に影響が出たが持ち直しの動き。
生産	↓	金属製品、プラスチック製品、汎用・生産用機械は需要好調でおおむね高水準。繊維は持ち直し。電気機械は主に海外需要の減少により半導体集積回路などに弱い動き。
設備投資	→	国内外の堅調な需要を背景に、化学・石油石炭製品、汎用・生産用機械などで増産や新規受注対応の投資計画が見られる。小売りでは店舗新設、改装の動きがある。
雇用情勢	→	製造業の一部で受注減に伴い、派遣社員の補充を行わない動きが見られるが、依然として多くの事業所で人手不足が続いている。
個人消費	→	百貨店はやや弱いが、スーパーとコンビニはおおむね堅調。乗用車販売は持ち直しの動き。観光は緩やかな持ち直しの動きとなっている。

調査対象四国管内59社(製造業36社、非製造業23社)